

早稲田大学 人間科学部 小論文 講評

〔総合分析〕

出題形式	論述 1 題
試験時間	90 分
特徴・その他	1000 字程度の文章（資料A）と、世論調査の表（資料B）をもとにして、受験生の見解を 800～1000 字で述べさせる問題。例年のパターンを継承している。

〔大問別講評〕

出題内容	コメント	難易度
日本人の「日本語力」や「日本語を使って考える力」についての考察	「国際化」のテーマの中では、ヤマ中のヤマの論点であるが、高校や一般の予備校ではあまり注目されていない論点である。前もって的確な準備をしていったかどうかで大きく点数が違ってくる難問なので、一般の受験生の出来はあまりよくないと思われる。	やや難

〔総合コメント〕

最近、鈴木孝夫氏、大野晋氏等の、日本人の「日本語力」や「日本語を使って考える力」の低下を問題にしている著作が多数出版、発表されており、近時の出版界、論壇、学界等の動向をみれば、ヤマ中のヤマということは自明であった。早稲田予備校の 2003 年 1 月の直前講習（早慶小論文）では、大野氏の著作を使い、『日本語力』と『日本語力を使って考える力』の低下について、いかに考えるべきか」の問題の演習（小論文作成→解説授業→講師による添削）を実施しており、まさにドンピシャリであった。本学部を受験した生徒はよくできており、皆ニコニコ顔だった。